



市報

No.367

いしおか



9月号

昭和60年9月15日発行 茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3-1-1

石岡の民家 (1) 月泉堂 (国府三)

市の人口

(9月1日現在)

男女計	24,529人
男	25,242人
女	49,771人
計	14,365世帯

福祉会館ふれあい構想

めざせ豊かな福祉都市

昭和六十二年春、この日の完成を目標に、石岡市では福祉会館の基本設計を練っています。福祉会館は、地域福祉の拠点として、既に県内のいくつかの都市に誕生しています。土浦市・古河市・水海道市・北茨城市・下館市・阿見町、そして建設中の勝田市など。多くの都市が、住民の幸福の拠点づくりに心血を注いでいます。

人と人との豊かなふれあいを求めた福祉会館は、老人と心身障害者のための施設と福祉コミュニティセンターの性格を持つ、複合施設の構想をもとに設計が進められています。予想される建築延べ面積は千五百平方メートル。敷地は、国府五丁目7番の6号国道に近い土地が見込まれています。

お年寄りが、心身障害の子供たちが、そしてボランティアの人々が、心豊かにふれあえる福祉会館。私たちは今、さらに「福祉」に目を向ける時期に来ているのではないのでしょうか。

福祉会館

は市民ふれ

あいの拠点



▲朋友園の作業場で施設の子供たちと箱作りの協同作業をする「ボランティア友の会」のメンバー。

のグループは水戸保の朋友園を訪ね、身体障害児と一緒に箱作りの作業をして、子供たちとふれあいの一時を過ごそうというものです。

「こんにちは」と声をかけて施設の玄関口に入っていくと、十人近い子供たちが嬉しさを顔一杯に表わしてお出迎え。それぞれの喜びを、それぞれの方法で一杯に伝えてきます。純真で汚れない眼差しに囲まれたボランティアのメンバーの表情も柔らぎに輝きます。

この日の作業は、水戸の銘菓をいれる箱と輸出用サインペンの組み立て。慣れた手付きで作業をする子供たちに「ボランティア友の会」の人たちは、優しく話かけます。

「時々、県のボランティア集

9月5日、半の木の老人ホーム明翠苑において、父宮妃殿下と鷹司和子さん。ホームのお年寄り一人一人にこやかに声をかけ、ふれあいの一時を過ごされました。



福祉会館が、地域福祉の拠点として完成をみれば、そこにはぬくもりに満ちた市民のふれあいの場が誕生します。

身体障害者との交流を中心に地道なボランティア活動を続けてきた「ボランティア友の会」。

この会も、そんな施設の完成を心待ちにしているグループの一つです。

会長の佐藤秀子さんは、「福祉会館が出来るといってお話を聞いて、やはり楽しみなのは、人とのふれあい。ですね。私達は現在メンバー九名、四年目の活動に入りました。一人暮らしのお年寄りに電話で話し掛ける。愛の電話訪問。や身体障害者の施設。朋友園。訪問などを行っています。活動が軌道に乗ってきているので、施設誕生への期待は大きいです」と目を輝かせています。

この日の午後、佐藤さんたち

会に出席するんですが、日立市など先進地の方々とお話すると自分たちの福祉活動って何なのだろう、と考えてしまう事があります。石岡の活動は、まだ発展途上。ですから、福祉活動を一歩一歩充実させていくために、福祉会館の果たす役割は大きいと思います」とメンバーの海老沢とりさんの言葉。

「じゃあ、みんなで、まじめにやってみよう」と施設の男の子のおどけた声。

「ほらほら、自分こそ間違えないで」先生が言うと、作業場はどつと笑いに包まれました。

高齢化社会の足音とぬくもりの心

福祉会館には、お年寄りが集まって楽しめる老人福祉施設の構想が含まれています。高齢化社会の入り口に位置する私たちにとって、それはやがて誰かが利用する共通の財産です。どんな若者でもやがては木枯らしの吹く老齢の季節を迎えます。その人生の締めくくりを、人の愛に包まれて暖かく過ごせるかどうか。今、石岡の福祉は大切な岐路に立っています。

柏原工業団地の後閑製作所に



▲一人暮らしのお年寄りを招待して、老人憩の家で行われる「お好み素人演芸会」で司会をする滝田さん。

動める滝田清さん(49)。二十五年に及ぶボランティア活動を通して、滝田さんは様々なお年寄りの姿をみつめてきました。東京善意銀行に技術預託したという司会と漫談の声のさきは、まさに玄人はだし。

「これまで、二百カ所ほど刑

て喜んでくれるのはお年寄り。自分がこうしていられるのも先祖のおかげですから、それと同じで先輩方に対する感謝の気持ちは大切にしなければいけません。歯切れの良い声がよどみなく流れます。

「石岡で司会をやるときは枕言葉がありましてね。――筑波山から流れる水清き恋瀬川のほとり石岡市。虹は七色人情は十色と申しますが、世の中がいく

「生活と福祉」などを勉強中。「東京の活動は活発です。石岡の中にも埋もれたものがたくさんあるはずですし、みんな輪をどんどん広げていきたいですね」と語る滝田さんが、最後に出した一枚の紙。そこにはこう書いてありました。

◎石岡市とかけ、二本の満星ホームランを打った時と解く。そのころは、発展(8点)間違いなし。

★書道を習うとボケないぞ(高齢者書道教室)



いつも満員。老人憩の家で開かれている高齢者書道教室は、独特の熱気に満ちていました。

受講生の一人、島田ふくさん(63)は、「私は、今までずっと働いて、それこそ鼻唄一つもなく生きてきたので、これからは色々習おうと思っているんです。人生八十年、先は長いですからボケないように、子供たちに迷惑をかけないように高齢者教室などに参加して、頑張りたいです」

近くでその話を聞いていた本橋とみさん(69)もうんうんとうなずき顔。

「私にとっても字を書くことは、ボケない秘訣。大勢の人たちがこうして活動をしている訳ですから福祉会館、本当に良いものを作ってくださいよ!」

★科学万博・いばらきパビリオン 未来にとどけ!石岡市の日

21世紀へのプレリュード

八月十八日いばらきパビリオンのおまつり広場。「石岡市の日」に参加した市民の数は、約三百名。「歴史の里いしおか」が誇る伝統芸能集団が、広場いっぱいに祭りばやしを響かせて、みごとえのある舞台を繰りひろげました。

この日、科学万博会場の大通りを「富田のささら」「土橋の獅子」「石岡ばやし三村連」が練り歩き、会場を行く大勢の観客の目を惹きました。

そして今、科学万博はフィナーレ。茨城県民が丸となって盛りあげた世紀の祭典はここに幕を閉じました。

私たちの夢と希望と未来を奏でた二十一世紀への序曲。グッバイ科学万博!

▶8月18日午前11時、いばらきパビリオン催事広場のステージで市長・議長のあいさつの後、安島館長が花束を高く掲げて、さあ石岡市の日が始まります。



▲広場へ入ってきて舞い始めた土橋の獅子。この後、優雅な昇殿の舞を見せて超満員の観客を魅了しました。



▲総勢52名の大世帯で参加した石岡民謡舞踊連合会(吉藤文雄会長)の面々は、猛暑にもかかわらずみずみずしいあでやかな踊りで花を添えてくれました。朝6時から夜10時まで、参加者全員がこの踊りと同様輪になって石岡市の日をより立ててくれた一日でした。

▶ユニークで衝撃的。染谷十二座神楽の新鮮さは、石岡から来た多くの観客の心をも捕えたようです。それもそのはず。この里神楽は、これまで龍神山中腹の佐志能神社と総社宮でしか見られず、多くの人の目にはあまり触れられていなかったのです。おまけに鬼が紅白のモチ一俵分を配ったのでみんな大喜びでした。



▲科学万博会場をねり歩く富田のささら。背後のパビリオンは三菱未来館です。こんな光景はもう二度とありませんね。

●関東で初めての“おまつりテレホンカード”

富田のささらのウチワを作って万博会場で配ったかと思えば、今度はいしおかのお獅子をデザイン化してテレホン・カードにしたNTT石岡電報電話局。ガンパッてますね。



●週刊新潮の表紙を飾った石岡のお祭り

香丸資料館で、その表紙面の作者田中正秋展が8月28日から一週間開催されました。“祭りを支える人々の躍動する息吹が私にも興奮と感動を与えてくれた”と田中氏。

●粘土細工の獅子頭(市立児童館)

夏休み中に行われた獅子頭工作教室。子供たち22名が参加してかわいなお獅子が出来上り。講師は池田澄夫・浜恵夫の両氏でした。



お祭り 3つの話題

花ひらく石岡市の日

市民記者 持 永 真 実

三月から開幕されている科学万博。八月十八日は石岡市の日で、石岡の古くからの伝統芸能を知っていただくとうと、石岡はよし・富田のささら・三村ばやし・染谷十二座神楽・石岡民謡舞踊連合会の総勢三百人の方々が、猛暑の中それぞれの芸を精一杯披露してくださいました。

当日は、早朝からバスで会場に向かい、十一時からの本番を前に念入りなりハールサル。全員が本番まえから汗だくでした。

いよいよ本番。この日は石岡の名物・地酒の試飲会も合わせて催され、おいしいお酒を味わいながらのおはやし見物です。観客の入りも上々、みなさんの芸にも熱が入ります。

9月に行なわれる祭りさながら、次に催されるお神楽・おはやし。見物の方々から大きな拍手が送られていました。科学の最先端である科学万博を見物に来て、そんな音を耳にしたら何かホットした気分になったのではないかと思います。

私も科学万博と郷土芸能ではちよつと不釣合なのでは？と思っていました。けれども、自分が住んでいる所とは別世界の万博会場の一角で、懐かしい郷土芸能を拝見して、何だか知らないうちに心が和んでいました。

最先端の文化と懐かしいふるさと文化。その微妙な掛け合いでこの科学万博は成り立っているんだなあ、とつくづく感じました。



▲石岡酒造組合では、清酒のオンザロックとカクテルの無料サービスを行って大好評でした。市民記者の持永さんは朝9時にその記念すべき鏡開きを初体験！

日進月歩、驚くばかりに進んだ現在の文化は、先祖代々の長い歴史の中で受け継がれてきた。様々な生活と心意気の上に築き上げられて来たものが、石岡の催し物によって観客のみならずの心に深く刻まれたのではないのでしょうか。

参加なさった皆さん、暑い中大変御苦労様でした。

石岡ギネスブック (2)

いしおかーの高齢者

高橋きよさん百二歳



▲高橋きよさん(102)の日課は庭に出るの散歩と足踏み。どんな暑い日でもちゃんちゃんこを羽織って体を冷やさないように自分で気を付けています。

「お婆ちゃんの好きな食べ物、てんぷらとカレー。おやつでは、まんじゅう・ようかん・トウモロコシなどを喜んで食べていますね。歯は固いんです、歯茎が石のように硬くなつて、それで肉なども噛めるんです」と今更ながらに驚いて説明して

くれたのは高橋タケさん(76)。

高橋家に嫁いで五十余年、一緒に暮らすお婆ちゃんの世界話をしてきました。

「大食家ですよ。普通の一人前は軽く平らげます。三食とも御飯で、おかずは煮魚などのコッテリしたもの大好き。とても百歳を越した人とは思えません」高橋さんの住まいは、国府五丁目の閑静な地区。落ち着いた雰囲気には敷石が並べられ、手入れの行き届いた植え込みが家を囲みます。

「朝五時ごろ起きて、お天道様に手を合わせ、仏様に水を上げ、その後自分の部屋の前の庭を掃き掃除」新聞や本を読んだりする時間もあり、頭の働きもさききつとしているとのこと。

お風呂は毎日、四、五十分の入浴を一人で楽しめます。御主人は、昭和三十八年の冬に八十六歳で亡くなりました。

きよさんの性格は気丈で勝ち気。自由かつたに生きて来たといえます。



▲40年ぶりに復活した古道の屋台が、科学万博のUCCコーヒール館の前の通りをちよつと進みます。外人さんが思わず足を止めて、驚いた表情。

「夕食を楽しみにしているらしくて、おいしかったりすると『馳走様、本当においしかったヨ』と何度も言うんです。若いころは、胃腸が弱かったらしいですが、老人手帳をもらってからは医者にかかったことはありません。快眠・快食・快便で自然と共に生きていたといいた毎日です。

ほらほら、出てきましたよ。庭を散歩した後、その氏神様を拝むんです」見ると庭先に杖を手に散歩するお婆さんの姿。

「この間なんかイビキかいて寝ているんだから。まったく信じられないほど元気ですよ」氏神様の前で立ち止まり、お婆ちゃんは周囲を圧倒するような声で拝み始めました。

これぞ石岡一。コレクションや特技など身の回りの気付いたこと、自薦他薦を問いません。どしどし編集部にお寄せください。



石岡市議会臨時議会 海洋センター造成 費などの予算可決

8月26日、市議会議場において臨時議会が開かれ、一般会計補正予算(第二)一四四万四千円が原案通り可決されました。

この補正予算は、染谷地内に米春誘致予定の「海洋センター」の造成費を含むものです。

10月1日 国勢調査

総務庁統計局

10月1日は、国勢調査の日です。

国勢調査は、国の最も基本的で大規模な調査で、大正九年の第1回調査以来五年ごとに実施されています。今回は、14回目。

調査対象となる全国の人口は、約1億2,100万人、世帯数は約3,800万世帯という膨大な数に上ります。石岡市では、人口は5万弱・世帯数は1万5,000弱という数字が見込まれています。

さて、今回の国勢調査ではどのような情勢が明らかにされるのでしょうか。

●高齢化社会へのデータ

ここでは、高齢者の地域分布・就業の状況・居住状況などが明らかにされます。

●大都市への人口集中の兆

そこで、人口の地域分布と移動の状況が詳細に示されます。

●生活の問題に関する実態

私たちの生活水準は高まったとはいえ、通勤・住宅・家族問題などに新たな分析が加えられます。

9月24日～調査員が訪問

9月24日から30日までの間に、石岡市全体で292人の調査員が回ります。一般家庭はもちろん、寮やアパート・間借りしている方々の所へも調査票が配られます。

旅行などで一時留守にしている方・石岡に3カ月以上滞在している方・生まれたばかりの赤ちゃん・住込みのお手伝いさんや従業員の方も対象となります。記入漏れにならないようご注意ください。

記入した調査票は、10月1日から7日までの間に調査員が回収します。調査票に書かれた個人や家庭のプライバシーは固く守られます。

国勢調査のご協力をお願いします。



市の財政状況

をお知らせします

★石岡市告示第89号財政事情書

昭和60年 8月1日
石岡市長 鈴木 堅太郎

市の財産は……

722,502.62㎡	117,585.59㎡
土地	建物
基金	有価証券・投資出資金
12億2,082万円	1億7,698万8000円

昭和59年度の各会計決算見込みは9月定例市議会の認定に付されます。

昭和59年度の決算状況

昭和五十九年度の市の一般会計当初予算額は、歳入・歳出それぞれ93億5000万円。5回の補正措置で最終予算額は99億4110万円。当初予算額に対して6.3%の増となりました。

収入済額は101億52万2000円。予算額に対して1億5942万2000円・1.6%の増収です。

支出済額は96億1344万7000円。予算額に対する支出割合は96.7%です。

歳入歳出の差引額4億8707万5000円は、翌年度へ繰り越します。このうち26万3000円は継続費通次繰越額です。次の特別会計の歳入歳出差引額は、それぞれ翌年度に繰り越します。

●授産所会計 105万5000円 ●国民健康保険会計 1億935万3000円 ●簡易水道事業会計 62万6000円 ●下水道事業会計 531万6000円 ●駐車場会計 13万4000円 ●老人保健会計 1588万2000円。

決算 (見込み)

歳 出

支出済額 96億1,344万7千円

1億9,308万円	議会費
1億9,079万円	
4億8,232万2千円	消防費
4億7,284万8千円	
5億2,591万6千円	農林業費
4億8,162万9千円	
8億7,005万円	衛生費
8億4,926万1千円	
10億4,516万4千円	公債費
10億3,387万3千円	
11億2,776万2千円	総務費
10億9,999万8千円	
13億1,037万6千円	民生費
12億4,876万1千円	
19億9,359万9千円	教育費
19億3,874万5千円	
22億7,349万7千円	土木費
21億9,419万9千円	
1億1,933万4千円	その他
1億334万3千円	

★市民1人当りでは……★

税金の負担
85,005円



使ったお金
193,945円



市民税……40,583円
固定資産税……29,606円
電気税……5,367円
都市計画税……4,546円
たばこ消費税・特別土地保有税・軽自動車税4,903円

土木費……44,266円
教育費……39,113円
民生費……25,193円
総務費……22,192円
公債費……20,858円
衛生費……17,133円
農林業費……9,717円
消防費……9,539円
議会費……3,849円
商工費・労働費……2,085円



▲昭和54年から6年がかりで完成した柏原池公園。豊かな水と緑に囲まれた46,000㎡の広大な公園です。

★市 債

(昭和60年6月30日現在)

◎一般会計 77億3057.5万円

款別現在高	借入れ先	(内は構成比)
教育債 31億2509.2万円 (40.4%)	郵政省	26億1665.8万円 (33.9%)
土木債 19億7159.7万円 (25.5%)	大蔵省	19億7321.8万円 (25.5%)
都市計画債 10億3607.1万円 (13.4%)	市中銀行	15億2910万円 (19.8%)
総務債 4億4183.3万円 (5.7%)	公営企業金融公庫	5億9483.1万円 (7.7%)
公営住宅債 3億8040.3万円 (4.9%)	県	3億8448.2万円 (5.0%)
衛生債 2億9780.9万円 (3.9%)	共済組合	2億7852.6万円 (3.6%)
労働債 1億9724.3万円 (2.6%)	保険会社	4896万円 (0.6%)
その他 2億8052.7万円 (3.6%)	その他金融機関	3億480万円 (3.9%)

◎特別会計 45億1476.4万円

下水道 43億4774.9万円 (96.3%)	大蔵省	23億896.2万円 (51.1%)
駐車場 1億3647.1万円 (3.0%)	公営企業金融公庫	20億7080.2万円 (45.9%)
簡易水道 3054.4万円 (0.7%)	市中銀行外	1億3500万円 (3.0%)

一世帯当り
85万8千円

市民一人当り
24万7千円

★昭和59年度特別会計決算 (見込み)

予 算 額 (万円)	収入済額 予算収入率	支出済額 予算執行率
国民健康保険 16億3012	16億3498.5万円 100.3%	15億2563.2万円 93.6%
下水道 12億1730	12億230.5万円 98.8%	11億9698.9万円 98.3%
老人保健 10億4810	10億2759.3万円 98%	10億1171.1万円 96.5%
授産所 3980	3828.9万円 96.2%	3723.4万円 93.6%
駐車場 3000	2942.2万円 98.1%	2928.8万円 97.6%
簡易水道 1210	1094.1万円 90.4%	1031.5万円 85.2%

秋のサイクリング

ハ・フラワーパークは楽しいぞ！

●10月6日(日) 雨天→13日(日)

国府公園 午前9時集合 (当日朝受付・参加賞もあるぞ！)

●コース：国府公園→片野→フラワーパーク(昼食)・午後3時30分に帰着

●参加者は小学3年生以上の自転車に乗れる人。弁当・水筒・汗ふき持参
フラワーパーク入場料：大人¥500 中学生以下¥250



詳しくは、市教育委員会
体育係へ
☎3311111
内線331

リレー・インタビュー

ひまわり談話室

18



●吉川礼子(25) マミーよしかわ
石岡で二件目の「マミーショ
ップ」を一年四ヶ月前に始めた
吉川さん一家。次女の礼子さん
は、その中で最も油の乗った働
き手です。朝七時から夜十一時
まで開いているお店は、両親と
姉・妹、パート
十人の計十五人
で二交替制。
「商品の中で、
なま物はロスが
多くて、発注が
難しいです」と
語る礼子さんの
表情は、淡々と
して落ち着いた
雰囲気包まれて
います。
「海のシーズンは朝の二時
間が勝負で、パンとお弁当が飛ぶ
ように売れます。お客様は若い
人や男性が中心で、独身の人や
単身赴任の会社員が随分見えま
す。時間的にしんどい仕事です
が、最近やっとなれてきた感じ
ですね。でも、この辺は競争が
厳しくなってきた、セブイレ
ブンとかスパーが出来るという

たときなどは爽快ですね」
——休日の娯楽は？
「車に乗ってなるべく外に出
るようにしています。買い物
が多いです。あとは、読書。三島
由起夫・渡辺淳一・立原正秋の
ファンです。まだ独身ですから
海外旅行もいきたいです」
次回は、安藤米穀店の安藤正
宏さんです。

昭和60年度一般会計予算執行状況

歳入					
(単位:万円)					
科 目	当初予算額	4月～6月増減額	予算現額	4月～6月収入済額	予算に対する収入割合(%)
市 税	433,550		433,550	132,819	30.6
地 方 譲 与 税	15,900		15,900	2,108.8	13.3
自動車取得税交付金	11,300		11,300		
地 方 交 付 税	129,100		129,100	68,709.2	53.2
交通安全対策特別交付金	950		950		
分担金及び負担金	24,308		24,308	2,796.6	11.5
使用料及び手数料	23,193.3		23,193.3	4,416.5	19.0
国庫支出金	94,624.7	275	94,899.7	17,176.2	18.1
県 支 出 金	43,028.6	120	43,148.6	420.8	1.0
財 産 収 入 金	5,580.8		5,580.8	1,997.6	35.8
寄 附 金	50.6		50.6	70	138.3
繰 上 金	17,300.1		17,300.1		
繰 越 金	5,000	3,481.3	8,481.3	48,707.5	574.3
諸 収 入 金	45,893.9		45,893.9	8,938.5	19.5
市 債	67,820		67,820		
合 計	917,600	3,876.3	921,476.3	288,160.7	31.3

歳出					
(単位:万円)					
科 目	当初予算額	4月～6月増減額	予算現額	4月～6月支出済額	予算に対する支出割合(%)
議 会 費	19,767	120	19,887	5,287.2	26.6
総 務 費	99,900.8	1,804.9	101,705.7	22,925.1	22.5
民 生 費	140,148.9	55.3	140,204.2	25,304.3	18.0
衛 生 費	79,043.1	69.0	79,112.1	18,719.4	23.7
農 業 費	3,314.8		3,314.8	610.5	18.4
林 業 費	40,108.8	119.5	40,228.3	3,377.8	8.4
商 工 費	10,283.5	60	10,343.5	4,133.2	40.0
土 木 費	176,384.3	△ 509	175,875.3	5,457.7	3.1
消 防 費	48,985.6	1,525	50,510.6	11,403.2	22.6
教 育 費	189,778.4	631.6	190,410	27,391.3	14.4
災 害 復 旧 費	0.3		0.3		
公 債 費	106,884.4		106,884.4	6,316.1	5.9
諸 支 出 金	0.1		0.1		
予 備 費	3,000		3,000		
合 計	917,600	3,876.3	921,476.3	130,925.8	14.2

予算現額は、継続費通次繰越額を含んだ額です。

昭和60年度特別会計予算執行状況

(単位:万円)					
区 分	予算現額	4月～6月収入済額	収入割合(%)	4月～6月支出済額	支出割合(%)
授産施設	4,000	402.1	10.1	859.4	21.5
国民健康保険	186,900	35,500.4	19.0	20,737.8	11.1
簡易水道事業	940	206.9	22.0	92.7	9.9
下水道事業	142,100	1,354.6	1.0	2,633.2	1.9
駐在所	2,950	671	22.7	686.9	23.3
老人保健	114,090	21,029.1	18.4	16,948.5	14.9
石岡駅東土地区画整理事業	7,400			369.8	5.0

●簡易保険・郵便年金資金は、排水路整備に七五〇万円、柏原池公園整備に三五一〇万円、関川小学校増設事業には、六八二〇万円の還元融資です。

●年金資金は、老人居室整備資金貸付事業に一三〇万円。

●昭和五十九年度は、次の事業に還元融資がされました。

●将来の給付に備えて地方公共団体などに融資を行っています。

●昭和五十九年度は、次の事業に還元融資がされました。



還元資金の活用

市民交流の輪を広げよう！

国鉄臨時列車で行く

石岡市民号

●レッツゴー 東京ディズニーランド

●11月13日(水) 県民の日

●募集人員 500名

●旅行費用

区 分	石岡駅から	高浜駅から
大 人	7,940円	7,730円
小 人	7,060円	6,950円

※交通費+ディズニーランドパスポート+夕食弁当すべての料金です。小人は4～11歳です。

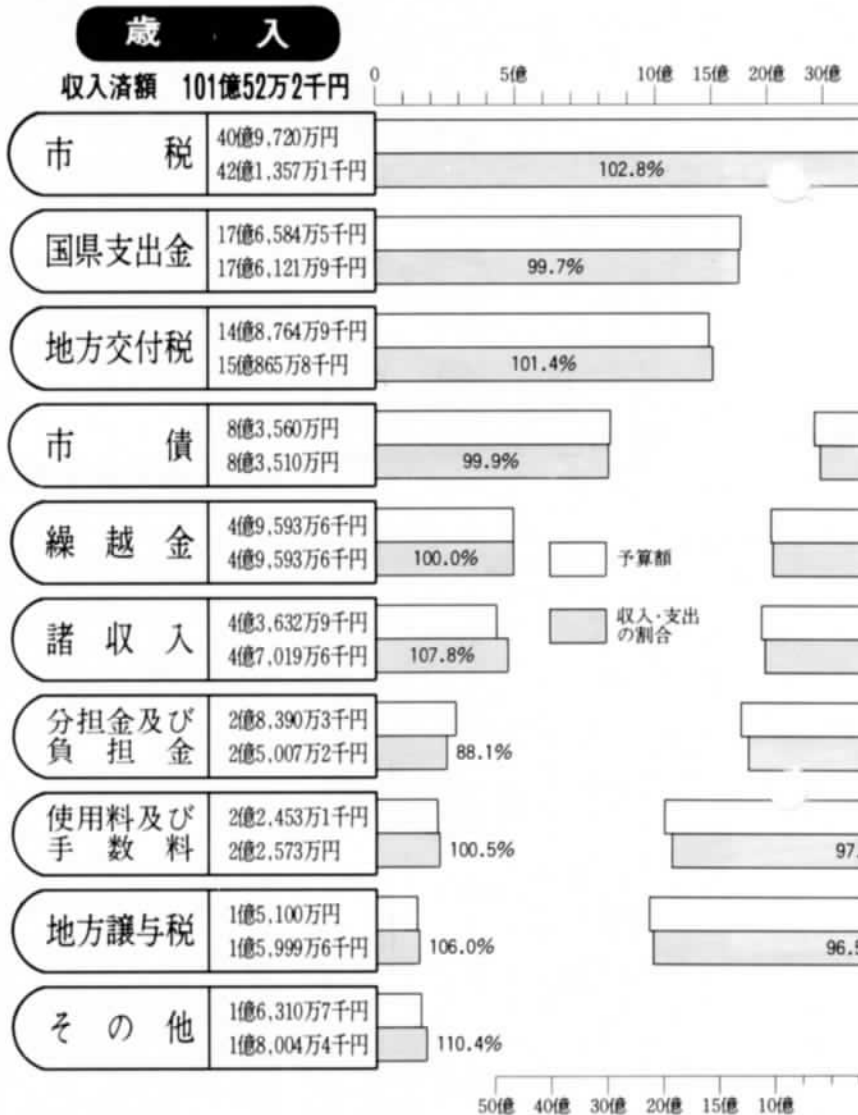
●申し込みは 石岡市役所 ☎3-1111 内線273
石 岡 駅 ☎2-2352
高 浜 駅 ☎6-5040

石岡駅の北側一〇〇メートルのところに作られた「石岡駅前第2駐輪場」250台収容のスペースが完成して、駅前歩道は、やっとすっきり。歩行者の皆さん、長い間ご迷惑をかけました。



石岡駅前第二駐輪場

昭和59年度一般会計



市長日記

●八月三十日(金)

台風接近の予報でもなければ、久方ぶりに聞く軒打つ雨音は、心静まる秋の夜の情感を誘うのであろうが、蒸し暑さのせいもあってか机に向かっても日記を認める心の統一ができない。月末になると決まって秘書課の広報係から、市長日記の原稿



ことが多いのに、この事については残念ながら今のような状態であることに自分ながら呆れている。

私は、孫たちと別棟家屋に住んでいるが、今夜窓越しに見る彼等の勉強部屋は、今なお明りがこうこうと光っている。

夏休みが終わろうとするのに与えられた宿題が片付いていないので、恐らく頑張っているのだろう。

遠く遠く去ったわが少年時代にも、よくそんな事があったっけ。おぼろげな追憶の中に今夜の自分と孫の姿が一致する。

八月少年の灯の夜更けまでこのような駄句がわが胸に

を出してくれるよう督促を受けるのである。

決まっている事なのだから早目に準備をしておけばよいのにまるで後ろから追いかけるような焦燥感を毎月のように繰り返して味わっている。やっぱり自分は駄目な人間なんだと謙虚に反省させられるのである。

どちらかというと、私は仕事を追いかける性分のせいかな、人からはせつちか者と思われる

台風一過、明日の朝はさわやかな秋空を見る事ができるだろう。孫たちの顔を見ながら、今夜の思いを話して聞かせるのが楽しみである。



文化・スポーツ

図書館4-1507 ★府中地区公民館4-1530 ★東地区公民館6-6503



▲子供たちはお父さんやお母さんといっしょになって竹トンボ・水ぐるま作り。

公民館

クルクル回った水ぐるま

親子おもちゃ教室

「自分で作ろう夏休み」をテーマに、八月二十四日(日)

東地区公民館で親子おもちゃ教室が開かれました。

参加したのは、親子約二十名。講師には、竹工業を営む赤津清司さんを迎え、竹細工で使用する小刀、ノコギリ、キリなど道具の使い方の指導を受けました。工作では竹トンボ、しの笛、

「ブービー」「ウワァー」鳴った、大喜びの子供たち。浅野アヤ子

ウワァ

竹笛が鳴った

大喜びの子供たち

竹馬、竹箸など先生の話を聞きながら子供たちは皆真剣に取り組んでいました。

小刀の使い方も知らなかった我が子が、恐る恐る竹を削っている姿は真剣そのもの。竹トンボ、竹笛、竹馬と進み、



お金をかせげば何でも買える世

とても有意義だった親子竹細工教室

中村 誠

「アツ危ない」と思わず口ずさんでしまいたくなる子供の手付き。東地区公民館で開かれた親子おもちゃ教室に参加して、子供の危なっかしい小刀を使う姿に、つい手を出しそうになるのを脇でじっとこらえて子供にやらせました。

市消防署の特別救助隊員五人が、八月二十三日広島市で開かれた「全国消防救助技術大会」に東地区代表として出場しました。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

市消防署の特別救助隊員五人が、八月二十三日広島市で開かれた「全国消防救助技術大会」に東地区代表として出場しました。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞

※参加費はすべて無料です。

市消防署特別救助隊

全国大会で五位入賞



▲中学生の1日体験入学(石岡一高)

8月26日石岡一高で石岡市と周辺町村の中学3年生が体験入学しました。受講生は農業・草花・果樹・畜産・造園の5コースに分かれ果樹コースではブドウの収穫を体験。参加した府中中の金子幸幸君は「家が農家なので経験のため参加し、良い勉強になりました」



▲ぼくらは少年消防隊
8月23・24日、石岡小・府中小・三村小の少年消防クラブ員50名が波付台キャンプ場で夏の研修会を行いました。消防ポンプの放水訓練や非常時の救急処置を教わって、みんな汗かく。

まちの できごと

●すずみりん・リン6P●

▼夏の夜に3,000人の盆踊り(市民広場)

8月10日、夜7時から行われた納涼市民盆踊り大会。どこから集まって来たのが、例年にない多数の参加者が踊りの輪を作って市民広場をうずめした。来年もまた参加してね。



その言葉を補足するように、大尾謙治君が「バスケットや水泳、陸上の競技会の練習中、失

と見目録文君。

十二名の生徒に尋ねたところ、「いつも、授業中になると、でれすけやロー」と怒鳴るんだ」と見目録文君。

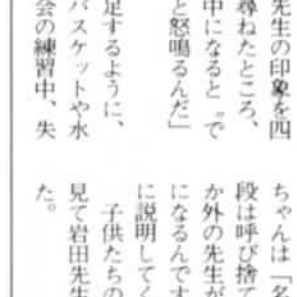
・南小 岩田知行先生(29)
英大で四年間、落語研究会に属し、「エーお笑いを一席」と、扇子を片手に老人ホームなど福祉施設を巡回し続けてきたという、ボランティア精神に燃える岩田先生は六年二組の担任教師。

見て岩田先生の人が伺えました。

ちゃんには「名前を呼ぶとき、普段は呼び捨てなのに授業参観とか外の先生が来ると言葉が丁寧になるんだ」と恥ずかしそうに説明してくれました。

小田美希子ちゃん「いつも自分のことを18歳と言っているの」とニコニコ顔。

「すこ運動熱心の先生なんです」と笑顔で話すのは古屋恵ちゃん。



ぼくらの名物先生 ⑨

英大で四年間、落語研究会に属し、「エーお笑いを一席」と、扇子を片手に老人ホームなど福祉施設を巡回し続けてきたという、ボランティア精神に燃える岩田先生は六年二組の担任教師。

▼俳句の部
旭台一 綿引きかえ
昼も蚊のひそむ葉裏の青い空母
若松一 金子 起久
ひぐらしや二声三声夕せまる
府中二 今泉 つる
白雲の切れ間切れ間をカナナの緋
夏ぼけを仕舞う合鍵さがしおり

文芸いしおか
総社一 楚阪 和彦
八十過ぎて妻の新盆ひとり身
国府四 生井 静
昔を今に花火でつなぐ隅田川
英城三 本多登美子
合歓咲いて扇の窓にかりり
▼俳句の部 題「行水」
岩崎 山水
孫の汗もに桃の葉摘んで
共に行水する姑
上田 御城

うたる暑さに塩ふく汗を
流す行水夏の味
篠原 東陽
庭にしきりに泣く虫聞けば
うかと行水捨てられぬ
鈴木 虚心
孫の行水おもちゃの金魚
浮かべ楽しいお庭先
吉原 国子
人の目をさけ行水すれば
月が見ている松の陰
大和田規美子

昔ながらの行水すがし
月に恥かいたら風呂
▼短歌の部 大谷津 海老沢明子
高浜の鉄橋過ぐる列車の音
聴ききり間に眼をみひらきて
若松二 柴田 玉樹
入院の母に笑顔で別れ来し
孫は泣き伏す家に帰れば
国府五 山口 とし
霧の湖に漁の舟は影淡く
声高に漁の多事を問ひ合ふ

▶「夏休み子供集いの超満員(清涼寺)」
今年で2回目を迎える子供集いの集い。土浦や竜ヶ崎からの参加者もあって清涼寺(曾根田俊雄住職)は百名近い子供たちでいっぱい。無我の境で座禅を行なう子供たちの背後を監視(きようき)を持ったお坊さんが回ります。



▲「大仏さん乗とくれ」とジャーマを担ぐ子供たち
毎年お盆の15日に行われる大谷津地内の珍しい習わし「蛇目」。この日は25名の子供たちがワラで作った大蛇を担いで45軒の家を廻り歩きました。



くらしのガイド



市役所 ☎(3)1111
市民会館 ☎(2)5187
メデイカル・サービス ☎(4)1385
テレホン ☎(3)3333

困り事

- 市民相談 毎週月曜・土曜 市役所市民相談室
- 困りごと相談 10月4日・18日 午前10時～午後3時 市民会館
- 行政・登記相談 10月11日(金) 午前10時～午後3時 市役所会議室
- 法律相談 市民相談室(内線263) 10月8日(火) 長谷川恒弘弁護士
- 10月22日(火) 野武典一弁護士
- 午後1時～4時 電話で予約を行ってください。
- 交通事故相談 10月18日・午前10時～午後3時 市民会館

赤ちゃん健診

- 3カ月児健診 メディカルセンター・病気の時は翌月に 10月2日 午後1時～2時 対象 昭和60年6月出生児
- 10カ月児健診 メディカルセンター 10月9日 午後1時～2時 対象 昭和59年11月出生児
- 1歳6カ月児健診 メディカルセンター 10月16日 午後1時～2時 対象 昭和59年4月出生児
- 3歳児健診 メディカルセンター 10月23日 午後1時～2時 対象 昭和57年9月出生児
- モシモシ赤ちゃん相談 ☎4-1386 10月7日・14日・21日・28日 午前9時～午後4時

外城遺跡の灯明皿

ふるさと散歩道 33

恋瀬川から貝地付近を眺めると、川に向かって突き出すような形をした台地が見えます。その台地の名は、外城遺跡。古代、茨城郡の郡役所が置かれ、中世には常陸大掾氏の館があったという所です。その場所での教育委員会が七月・八月と発掘調査を行いました。外城遺跡からは、掘・道路・門などの跡が発見され、中世の陶器や古銭、さらには数百枚に及ぶ灯明皿が出土。



▲8月24日に行われた外城遺跡の発掘報告会、関係者など約80名が集まりました。

これらの事実から、中世には常陸国の名族・大掾氏がこの館を構え、十六世紀末にはその館も終えんを迎えたことが判明したのです。発掘調査の結果から、二つの疑問が生じてきました。一つは、あるべきはずの茨城郡役所がどこへ行ってしまったのか? 私たちは、疑いもなくここに郡役所が置かれていたものと信じていました。先学者の見解もそうであり、郡の寺が東側に発見されたという裏付けもありました。しかし、この調査で一部も発見されなかったという事は、どこか別の地区に埋まっていると考えられるのです。もう一つの疑問は、多量に出土した灯明皿の存在です。灯明皿は、そのほとんどが十五・十六世紀のもので見られ、ちょうど外城終えんの時期に一致します。南からは小田氏が、北からは佐竹氏が勢力を拡大し、府中城陥落を狙っていた時代です。外城は、府中城の東の南側の役割を果たし、最後は府中城と共に滅んでいきました。灯明皿はそんな戦国の時代、明をともし戦勝祈願に使用されたものと考えられています。数百枚の灯明皿。それは戦国の世に散った戦士たちの鎮魂の器でもあったのです。

各種相談

- 国民年金・厚生年金相談 10月4日(金) 午前10時～午後2時30分 商工会議所
- 義肢・車いす器具等巡回修理 土浦市社会福祉センター 10月16日(木) 午前9時30分～12時
- 高齢者年金相談 10月23日(水) 午前9時30分～午後3時 市民会館
- 高齢者無料職業紹介所 毎週月曜・土曜 市役所 社会福祉協議会
- 出張相談 毎月第一水曜日 府中地区公民館 毎月第二水曜日 老人憩の家 毎月第三水曜日 東地区公民館
- 市民健康相談 市役所市民健康相談室 毎週月・水・金 毎月第一木曜日

健康相談

- 妊婦教室 メディカルセンター 10月7日(月)・14日(月)・21日(月) 午後1時30分～4時
- リハビリテーション メディカルセンター 10月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金) 午後1時30分～3時30分
- 健康相談 メディカルセンター 10月7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月) 午前10時～午後3時
- 出張健康相談 10月1日(火) 台石川公民館 10月4日(金) 石岡商工会議所 10月17日(木) 東地区公民館 10月24日(木) 府中地区公民館 ※各会場とも午前10時～午後3時

休日緊急診療

●受付 午前9時～午後3時30分(歯科は午前11時30分まで)

9月29日 10月6日・10日・13日・20日・27日		メディカルセンター 杉並2-1 ☎4-1386 内科・小児科・歯科			
月	日	診療科目	医療機関	所在地	☎
9月	29日(日)	外科 婦人科	青木山医院	国府3-4 東石岡4-11	3-02221 6-38112
	6日(日)	外科 婦人科	同愛田病院	府中3-1 国府2-3	2-22611 2-22668
10月	10日(木)	外科 婦人科	佐久間医院	府中2-1 府中2-4	2-24115 3-21517
	13日(日)	外科 婦人科	府中中山病院	府中5-11 東石岡4-11	2-21446 6-38112
	20日(日)	外科 婦人科	田中葉病院	鹿の子1-11 府中2-4	3-22888 3-21517
	27日(日)	外科 婦人科	根崎山医院	国府4-4 東石岡4-11	3-66111 6-38112
		外科 婦人科			

夜間緊急診療

●受付 午後7時～10時30分

9月29日 10月5日・6日・9日・10日・12日・13日 19日・20日・26日・27日	メディカルセンター 杉並2-1 ☎4-1386 内科・小児科
---	--------------------------------------

善意銀行

善意銀行への暖かいお心、本当にありがとうございます。
★金銭の部
匿名 五、五〇〇円
匿名 六、〇〇〇円
匿名 二、〇〇〇円
匿名 一、〇〇〇円
匿名 八、〇〇〇円
匿名 一〇、四九〇円
匿名 六九、九三七円

こんにちは赤ちゃん

お昼寝をしていたら有也香ちゃん、突然目を覚ました。カメラを向けると、「バァー」とカワユイ笑顔で振りまく女の児。
「この児は、人見知りしないんですヨ」とても愛嬌もいいし、近所の人気者。
なんと、「バァー」と目を細めて話してくれるお母さんの石崎歌子さん27。
近所に、同じ年頃のいとこが三人いて、よく家へ遊びに来ては「キヤー・キヤー」いいながら男の子を追いかけて回っている。掛け回している茶目つたつぷりの有也香ちゃん。「誰からも、好かれるような女性になってほしいですね。」
それと、私から離れてほしくない」とお母さん。

- 9月 国民健康保険税(3期) 国民年金(2期)
- 10月 市県民税(3期) 国民健康保険税(4期)
- 下水道受益者負担金 第二期 10/20～10/31

納期を忘れなびね

- 大塚節子 一〇、〇〇〇円
- 野口源治 四、〇〇〇円
- 紫峰俱樂部 一〇、〇〇〇円
- 小松崎 三、〇〇〇円
- 飯田昭治 三、〇〇〇円
- ★物品の部 池田まさ 手ぬぐい八十枚 茶園(青柳)一 茶園四十枚 荒井敏和 車椅子一台 五、二〇〇円
- ※五月二十日・八月十四日まで

編集後記

「とてもうまくないラーメンがあるぞ」そんなラーメン情報を聞いて、我が取材班は早速そのラーメン屋へ向かいました。グルメを自認する私たちがそこで見たのは、椅子に座ったおびただしい数の人間と身の毛もよだつようなドンブリの山。「ねぎラーメンの大盛り!」灼熱の厨房からこちらを恐る恐る覗くのは、ギリシャ神話・メデューサの髪にも似た麺と野獣の肉塊を放しにまに操る地獄の調理人。湯気の立つドンブリから見えるのは、ネギやこんぶや豚骨などのスープの素です。ポリウレタンたつぷりという感じで、具にはゴマだれをまぶした新鮮なネギとチャーシューとシナチクが乗っています。麺の歯応えは良質のスパゲッティと同様に、シコシコとしています。支那そばとも中華そばとも呼ばれるラーメンは、今や日本の大衆料理の王様です。あるラーメン研究家は、札幌ラーメンや九州のラーメンは邪道。チャーシュー・ネギ・シナチク・シナチク・ホウレンソウと醤油スープの中華そばが本道だと主張します。これを中華思想といいますが、それに付けても食道楽は健康が必須条件です。で、来月10月号は「健康特集」です。

おくりやみ (七月届出)

- 杉田 隆 62 府中二
- 前田 隆 69 府中二
- 林 隆 80 府中二
- 大崎 隆 77 府中二
- 山口 隆 80 府中二
- 太田 隆 78 府中二
- 若海 隆 80 府中二
- 飯塚 隆 80 府中二
- 木村 隆 80 府中二
- 石崎 隆 86 府中二
- 仙波 隆 65 府中二
- 網代 隆 49 府中二